



本装置は医薬品製造メーカーより供給される放射性医薬品の専用容器内のバイアルからリクエストに応じた薬液を抜き取り必要な薬液量に調整する装置です。コンテナトレイに専用容器をそのままセットすることができ、必要な放射エネルギーまたは液量を入力することで薬液バイアルの液量を容易に調整することが可能です。薬液量の入力装置は装置外部のコントローラで入力することで放射性医薬品から距離を取りながら作業できるため調整時の手指の被ばくを低減することができます。

特長

- 放射性医薬品の専用容器よりバイアルを取り外すことなく液量調整が可能です。
- バーコードリーダーで薬液の情報を読み込み、装置に入力することができます。
- 放射エネルギー、液量または被検者の体重*を入力することで調整が可能です。
*体重あたりの放射エネルギー (MBq/kg) をあらかじめ設定する必要があります。
- 調整された薬液はコンテナトレイに装備されている検出器で測定され外部プリンタより調整内容が印字されます。他の装置との連携を想定し、QRコードも印刷されます。

主仕様

寸法 本体	W270mm×D320mm×H390mm(脚部、コネクタを除く)
操作部	W170mm×D148mm×H75mm(脚部、コネクタを除く)
重量 本体	約46kg
操作部	約1.3kg
対象核種	18-F製剤 (74MBq~370MBq)
検出器	半導体検出器(測定誤差 ±5%)
リクエスト容量	0.5mL~検定容量の90%
分注精度	±2%(0.5mL以上 分注時)
電源	ACアダプタ(AC100~240V±10% 50/60Hz)
消費電力	約45W(最大)
附属品	ハンディスキャナ、プリンタ



製造販売元

販売元